

報 告 書

開催日時	平成26年5月14日（水）午後7時～8時30分	
開催場所	住田町農林会館	
出席議員	挨拶 菅原悟班長（総務常任委員会委員長）	
	司会進行	菅野 稔
	報告者	佐竹 強
	記録者	藤倉泰治
	議員	千田勝治（欠席：小松眞）
参加人数	5人	
主な要望 ・提言等	<p>○震災前の税収と今の税収はどうか。予算が1,300億円というが、復興事業が終わって財政状況が10年先はどうか不安だ。夕張のような財政破たんになるのではないかと。国保税などはどうか、高くなって、陸前高田市に住まなくなるのではないかと。ハード事業が多いが、公営住宅は半分は空くと思う。ランニングコストがかかると思う。住民の負担はどうなっていくのか。市民が陸前高田市に戻るかどうか、躊躇しているのはそこではなかと。思う。</p> <p>○予算の中の事業費560億円になるが、半分が未執行だが、その原因は何か。</p> <p>○復興事業における用地買収の進捗状況はどうか。日本全国を職員が回っているようだが、状況はどうか。</p> <p>○用地取得が大きな課題になっていると思う。陸前高田での用地取得問題は、大都市で東南海地震が起きた場合にも問題になること。国にも今のうちに制度や法律を変えてほしい。</p> <p>○防潮堤も果たしてこれだけ高くしていいのか。まず2メートル、3メートルの防潮堤位でいいのではないかと。</p> <p>○高田地区のかさ上げは湿地帯の上になる。科学的な根拠を示してほしい。サウドコンパクションパイル方式でやるというが、議員もかさ上げの安全性についてもっと調べてほしい。</p> <p>○URだけの回答だけではなく、学者・専門家の人たちの意見を聞いて進めてほしい。「陸前高田の工事は心配だ」と言っている学者もいる。今年中に調査をやってほしい。</p> <p>○普段の防災訓練や事前に避難する場合、警報や発令の放送の際、言葉の使い方が気になっている。平場にあった体育館は1次避難所なの</p>	

	<p>か。あちらこちらから指摘があるが、正式な避難所だったのか。</p> <p>○シミュレーションは県で示しているが、地元の議員、地元の人たちが「あそこは危ない」と強く言うべきではなかったのか。「県から指導があったから」と言うだけでいいのか。</p> <p>○警報の言葉のことで、もう一つ。「高台へ」と放送していたが、もっと命令口調でいいのではなかったのか。丁寧すぎる。緊急の場合は丁寧さは無視していいのではないか。そういう放送についても検証すべきではないか。それを進めるのが議員ではないか。</p> <p>○県から言われたから、県のとおりというが、地元からそれを跳ね返すようにすべきではないか。杓子定規ではすまないのが災害だ。</p> <p>○気仙川の堤防の高さを上げるのか。天亀のあたりまで都市計画区域内のかさ上げ盛土なのか。的場地内は沢水の排水の問題あるが排水対策を考えているのか。</p> <p>○区画整理事業などで、区域内の人には説明があるが、そのきわ（際）や周辺の人には説明がない。周辺の人たちの意見も聞くべきではないか。</p> <p>○仮設店舗の解体費はどのくらいなのか。それが自己負担ではなく国費で負担となれば、その話を伝えるべきではないか。仮設店舗の人は解体して移るか、そのまま仮設のまま商売をつづけるのか、また、共同の店舗なので自分だけ一人の場合はどうするか等、悩んでいる。</p> <p>○議会報告会の開催について、議会の開会前に開いてほしい。報告会だからと言って報告だけではなく、そこで出た意見や要望を議会で反映させられるように議会開会前の時期に開いてほしい。</p>
<p>所 感</p>	<p>【菅原悟】</p> <p>将来人口減、市街地の嵩上げ工事についての工法、避難所の選定等は市と住民が共通意識で行うこと、復興は市民全体に配慮し、意向調査等を行うべきなど、少人数の参加ではあったが幅広い意見が寄せられた。</p> <p>【菅野 稔】</p> <p>今回は5名と昨年の懇談会は33名の参加で、極端に少なく懇談会のあり方を考えさせられました。</p> <p>それでも将来の市税の不安や避難所の設定についてや避難させるときの防災無線からの市民を避難させるための強い表現があれば逃げる市民も多かったのではないかと、また、今泉の盛土がなされると気仙川の堤防付近はどうなるのか等心配している市民もおりました。</p> <p>【佐竹 強】</p> <p>市の復興事業の進捗を見ていると高田町、今泉地区ばかりが優先して米崎や竹駒地区は後回しにされているような気がする、との発言が印象</p>

に残った。

被災者の中には3年余りの歳月の経過が重くのしかかり、精神的にかなりの負担がかかっていることを思わせた。

穏やかな雰囲気の中で多岐にわたった懇談ができ参加者が少ない中でも中身のある報告会であった。

【千田勝治】

市内各地で実施されている復興工事現場の強雨対策の心配される意見や工事の進ちよく途中で津波対策等の対応について、議会のチェックが強く要望された。

【藤倉泰治】

市の復興事業や区画整理、商店街形成などの計画内容や進み具合などの情報提供とともに、市として要望や意見を聞き話し合いながら進めることが現在ますます大事になっていると感じた。議会として住民の意見聴取、さらに国に対する運動で制度や仕組みを変えることの必要性を感じた。

議会広聴広報特別委員会

広聴小委員長 松田 信之 殿

平成26年6月6日

陸前高田市議会議会報告会開催要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成26年度議会報告会 1班

班 長 菅原 悟 (印)